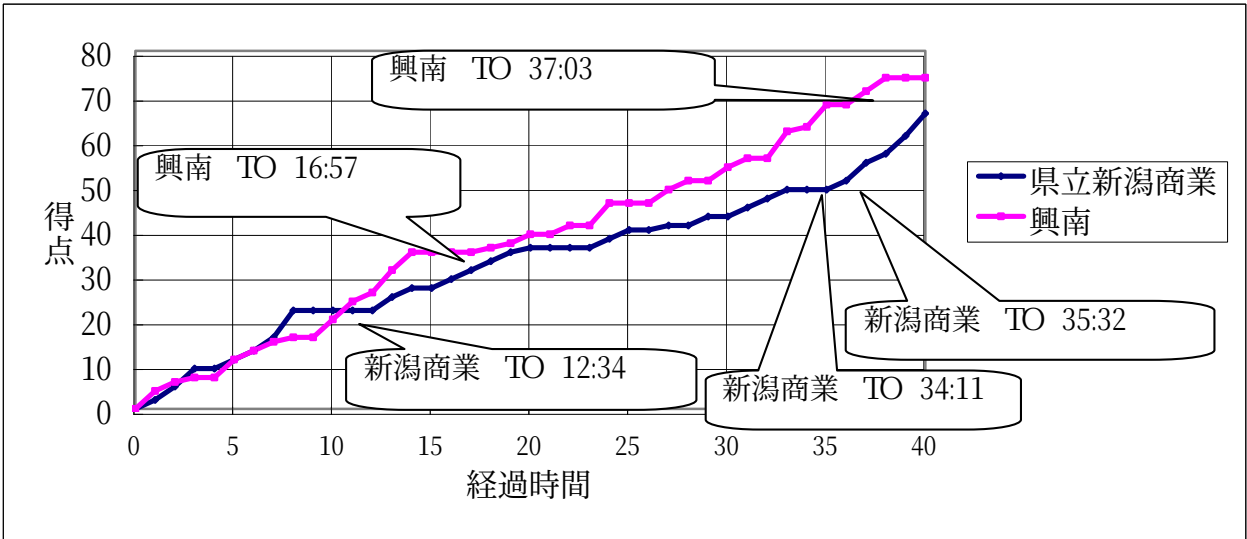


大会名	平成19年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会第60回全国高等学校バスケットボール選手権大会	G3	13:20	男子 2回戦
期日	2007年（平成19年）7月30日（月）	県立新潟商業	66	74 興南
会場	唐津工業高等学校	新潟	●	○ 沖縄

主審 清水 幹治 副審 大久保 好純



県立新潟商業

	No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
◎	4	長谷川 智也	34	3	12	1	2
○	5	松浦 和城	0	0	0	0	0
○	6	西片 翼	5	1	1	0	5
	7	花澤 佑太	0	0	0	0	0
	8	南澤 隼斗	0	0	0	0	1
	9	阿部 航平	0	0	0	0	0
	10	横山 良平	2	0	1	0	0
○	11	横坂 健人	7	0	3	1	5
	12	佐藤 圭汰	0	0	0	0	3
	13	近藤 大	4	0	2	0	1
○	14	山崎 将也	14	0	7	0	4
	15	田村 亮	0	0	0	0	0
	16						
	17						
	18						
コーチ		中屋 廣昭					1
		合計	66	4	26	2	

興南

	No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
	4	城間 勇人	4	0	1	2	3
○	5	岸本 行央	5	1	1	0	2
◎	6	金城 徹	31	0	11	9	1
○	7	富山 英作	14	1	4	3	3
○	8	金城 幹矢	4	0	2	0	0
	9	徳永 海刀	3	1	0	0	0
○	10	玉城 偉光	8	0	3	2	3
	11	上江田 誠	0	0	0	0	0
	12	外間 博也	0	0	0	0	0
	13	山内 盛久	5	1	1	0	2
	14	赤嶺 洸太	0	0	0	0	0
	15	新里 優太	0	0	0	0	0
	16						
	17						
	18						
コーチ		井上 公男					
		合計	74	4	23	16	

○はスターター ◎はキャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

順当に2回戦に進出してきた新潟商と1回戦の接戦をものにして勢いにのる興南との対戦。一進一退の攻防の未激しいディフェンスと強気の攻めを武器とした興南が熱戦をものにした。

第1P、両チーム共にハーフコートマンツーマンでスタート。興南#4城間、#7富山の強気の1対1で相手のファウルを誘い得点を重ねる。一方、新潟も#6西片、#11横坂、#14山崎の外角からのシュートで応戦。逆転につぐ逆転で22対20新潟商リードで第1Pを終える。

第2P、開始早々興南#6金城のフリースローで同点に追いつく。これをチャンスに#6金城、#10玉城、#13山内の1対1から次々と得点を重ね8点リード、一方厳しいディフェンスに攻めあぐむ新潟商だが#4長谷川の5本のシュートで詰め寄るが36対39興南リードで前半終了。

第3P、興南の強気の攻めは止まることを知らず、新潟商は速いテンポでオフェンスを組み立てるが興南のしつこいディフェンスが効き始めリバウンドから速攻、ターンオーバーで逆に得点される。終了間際に興南#9徳永の3Pが決まり43対54で第3P終了。

第4P、リードを許した新潟商は#4長谷川の1対1や外角のシュートで得点を上げるものの勢いに乗った興南はリバウンドをことごとくものにし、速攻や3Pで得点を重ねた。終盤、新潟商はオールコートマンツーマンに切り替えるが、必死の追い上げも届かず66対74で興南が勝利し3回戦進出を決めた。

記者 古川 浩之 所属 佐賀県バスケットボール協会